

特集3 平成25年度 勝山市観光戦略推進事業に1,450万円

勝山市の観光資源を活かしたPR・認知・誘客事業です。

恐竜を軸に、全国情報発信機能を充実させるために次の4つの事業が計画されています。

①ブランド化事業

JR自治体観光無料枠の有効活用を念頭においてポスター掲出を行い、その制作物を日本観光ポスター展へ出展・入賞を目指すことにより大手旅行会社へのプロモーションにも繋げていく。

②Web戦略事業

平泉寺Webを根幹に、勝山市の魅力を発信し他に波及効果を生んでいくことを想定。(例・香川県うごん県)

③夏フェス事業

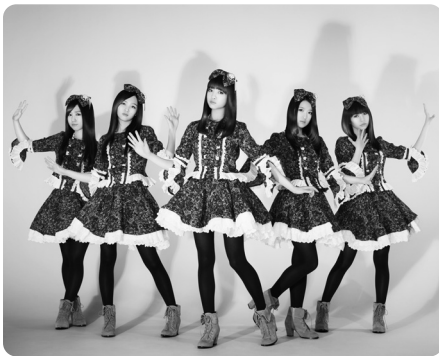
若い世代をターゲットとした音楽イベントを開催し、都市圏からの観光誘客・観光消費型増加を図る。

④新設(恐竜・音楽・Web)大使事業

魅力的なキャラクター(恐竜・音楽・Web大使)により勝山市を全国発信。その方々には、夏フェス事業、ブランド化事業にも参画していただく。(東京女子流、DANCEROID、浜崎容子、委嘱)

北陸新幹線金沢開業(平成26年度)中部縦貫自動車道永平寺大野道路全線開通(平成28年度)を視野に入れた観光PRを展開。

世界に誇れる恐竜王国福井県、その地元である勝山市として「恐竜」をもっとブランド化していくのが、この勝山市観光戦略事業です。



恐竜大使『東京女子流』

特集4 街路灯について

街路灯については、市の事業で設置している街路灯と県の事業で設置している街路灯があります。市の街路灯の設置には70%の補助と電気料の1/2の補助があります。県の街路灯の設置事業「安心で明るい通学路普及促進事業」は平成23年度から26年度までの4カ年事業で集落間の通学路に設置する街路灯と集落内の通学路に設置する街路灯が対象です。集落間の通学路については、街路灯の設置費も電気料も地元負担はなく、全額公費負担となります。集落内の通学路については、街路灯の設置費の85%の補助と電気料の半分の補助があります。

県の事業には4カ年450基という設置数に上限があり、勝山市は前倒しをして設置を行っており、残り20基は25年度に設置する予定です。「地区に案内をして、要望のあった通学路の街路灯については、すべて完了したと思っています。この事業は26年度も続くので、要望があれば、県に話をしていきたい」と理事者は答えています。

また集落間の通学路の街路灯の電気代負担については、公平性の観点から問題があるとの意見から、今後検討することでした。



LED街路灯

特集5 県からの移譲事務について

平成25年度より地方分権の一つとして、社会福祉法人の許認可及び指導・監査業務が県から市に移譲されることに伴い、指導・監査体制の強化を図るための予算が計上されており、具体的には監査の補助事務を公認会計士に委託するとともに専任職の配置、職員研修など行うとのことです。

議会からは、監査指導など大変な業務で厳しくしなければいけないが、市は国や県と違い地元と密着しているため、厳しい監査指導が出来るのかなど質問がありました。理事者側からは、専任の職員配置、職員の資質向上に努めるとのことです。

この他に未熟児の入院養育にかかる医療費や、18歳未満の障害児を対象とした自立支援医療費の助成についても、新たに県から移譲されることとします。